

令和7年度宮城県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要領

1 名 称

令和7年度宮城県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

2 目 的

今日、薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安全や安心を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっている。

このため、国連では、地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組むために、6月26日を「国際麻薬乱用撲滅デー」と定め、加盟国が一体となって薬物乱用の根絶を目指すこととなったところである。

我が国では、「第六次薬物乱用防止五カ年戦略（令和5年8月）」を策定し、政府一丸となって総合的な薬物乱用防止対策に取り組んでいるところである。

宮城県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、かかる背景の下、国内における薬物乱用防止活動において、官民一体となり、県民一人一人の薬物乱用問題に対する認識を高めるとともに、内外における薬物乱用防止に資することを目的とし、薬物乱用のない社会づくりに貢献するため実施するものである。

3 実施期間

令和7年6月1日（日）から令和7年9月30日（火）までの4か月間

4 実施内容

(1) 県実行委員会の設置について

宮城県薬物乱用防止指導員、関係団体、関係機関及び宮城県保健福祉部薬務課をもって構成する宮城県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会（以下「県実行委員会」という。）を置き、啓発キャンペーンの企画及び運営を行う。

(2) 啓発キャンペーンについて

県実行委員会は、次の宮城県薬物乱用防止啓発キャンペーンを実施する。

イ 実施日

令和7年7月から同年9月（予定）

ロ 実施場所

陸上自衛隊仙台駐屯地（予定）

ハ 実施内容

陸上自衛隊仙台駐屯地で開催される創立記念行事に併せて、薬物乱用防止指導員、ヤングボランティア等と協力し、若年層に対する薬物乱用防止啓発活動を実施する。

(3) 各地区における各種啓発活動について

各地区の判断において、各種啓発キャンペーンの企画及び運営を行う場合には保健所・支所単位で地区実行委員会を置き、各地域の夏祭りや地区行事等の開催に併せて各種啓発活動を行う。また、病院、診療所、薬局、環境衛生組合等の地域団体の協力を得て、施設又は店舗へのポスター等の掲示及び薬物乱用撲滅を呼びかける一声運動への協力を依頼する。

5 主催

宮城県

6 後援

株式会社楽天野球団
株式会社仙台 89ERS
株式会社ベガルタ仙台
株式会社マイナビフットボールクラブ
一般社団法人宮城県子ども会育成連合会
宮城県PTA連合会
宮城県高等学校PTA連合会
宮城県高等学校長協会
宮城県中学校長会
宮城県小学校長会
一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
宮城県私立中学高等学校連合会
宮城県私立小中高等学校保護者会連合会
宮城県高等学校生徒指導研究会
一般社団法人宮城県自動車整備振興会
公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城
ブロック協議会
宮城県商工会連合会
公益社団法人宮城県バス協会
公益社団法人宮城県トラック協会
一般社団法人宮城県タクシー協会
宮城県遊技業協同組合
宮城県遊技業防犯協力会
一般社団法人宮城県建設業協会
宮城県中小企業団体中央会
宮城県塗装業組合連合会
一般社団法人宮城県法人会連合会
公益社団法人宮城県医師会
公益社団法人宮城県獣医師会
宮城県学校保健会
一般社団法人宮城県歯科医師会
一般社団法人宮城県薬剤師会
公益社団法人仙台市薬剤師会
宮城県病院薬剤師会
一般社団法人宮城県医薬品登録販売者協会
宮城県医薬品配置協議会
宮城県毒劇物協会
宮城県医薬品卸組合
宮城県麻薬協会
宮城県薬事工業協会
公益財団法人宮城県生活衛生営業指導
センター
宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合
宮城県寿司商生活衛生同業組合
宮城県理容生活衛生同業組合
宮城県美容業生活衛生同業組合

宮城県社交飲食業生活衛生同業組合
宮城県中華飲食生活衛生同業組合
宮城県クリーニング生活衛生同業組合
宮城県料理業生活衛生同業組合
宮城県市長会
宮城県町村会
仙台市こども若者相談支援センター
公益財団法人海上保安協会宮城支部
宮城県少年補導員協会
公益社団法人宮城県防犯協会連合会
宮城県青少年補導センター連絡協議会
社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
ライオンズクラブ国際協会第332-C地区事務局
宮城県更生保護女性連盟
宮城県人権擁護委員連合会
宮城県BBS連盟
日本ボーイスカウト宮城県連盟
ガールスカウト宮城県連盟
宮城県地域婦人団体連絡協議会
宮城県各種女性団体連絡協議会
日本赤十字社宮城県支部
青少年のための宮城県民会議
NHK仙台放送局